

タブレット74台 教育に役立てて

テクノアが県に寄贈

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市)は特別支援教育の推進を目的に、タブレット端末「iPad(アイパッド)」74台(計139万円相当)を県に寄贈した。

同社からの特別支援教育関連の寄贈は初めてで、iPadは教員用として活用される。岐阜市藪田南の県総合教育センターで贈呈式が行われ、同社の山崎耕治社長が県教委幹部に目録を

iPadを寄贈したテクノアの山崎耕治社長(左)と岐阜市藪田南、県総合教育センター



手渡し、感謝状を受け取った。

山崎社長は「役立つことができてうれしい。コロナ禍で教育現場は大変な状況ではあるが、今後も支えていきたい」と語った。

(湯浅裕作)